

## 「地域の力を学校へ」推進事業の実践例（平成24年度実施分）



テーマ

Theme

「ようこそ先輩～夢について考えよう～」

学校名

School

大津市立仰木小学校（6年生）

講師等

Lecturer

滋賀弁護士会

実施日

Date

平成 25 年 1 月 31 日

教科等

Subject

総合的な学習の時間

### 授業 Class

弁護士になったきっかけや、その道のり、仕事内容とやりがいについてお話いただきました。

就職した司法書士事務所で生き生きと働く司法書士に憧れたのがきっかけで、「どうせやるなら、幅広くいろんな事件をとり扱いたい」と24歳のとき弁護士を目指して一念発起し、司法試験の勉強を始めました。当時の司法試験合格率は約3%で、周囲の猛反対にあいながら、4度目の司法試験で見事合格を果たされたそうです。「弁護士になれるか、なれないかは、やってみないとわからない。あきらめずにチャレンジしたから今がある」と話されました。

児童からは「無実の証明は大変ですか」「どんな方法でどんな情報を集めますか」「達成感はどんなときに感じますか」等の刑事裁判に関する込み入った質問があがり、とても熱心に授業を聞いていました。



### 感想 Impression

Impression

#### 児童より Impression from Children

- 弁護士への道のりは長く、ロースクールが終わってからまた司法試験があって、それに受かったら、裁判官・弁護士・検察官になれることがわかってびっくりしました。講師の方の襟についている弁護士バッジが見られてよかったです。弁護士になってみたいと思いました。
- 自分の夢をあきらめず、正しい道を進んでいてすごいと思いました。私も自分の夢をあきらめずにがんばれる人になりたいと思いました。
- 弁護士の仕事は人々の役に立つやりがいのある仕事だと思いました。

#### 学校より Impression from school

電話での打ち合わせでしたが、学習内容を講師の方によく理解して頂きました。

小学校時代にいじめに遭った経験を話して下さったのが、印象に残りました。6年生の子ども達にも、正しいことは正しいと言ったり行動したりできる中学生になってほしいです。

#### 講師より Impression from lecturer

先生の授業に関する希望内容が明確だったので、非常にやりやすかったのですが、内容を詰め込みすぎてしまい、子ども達にはわかりにくい部分もあったかもしれません。

様々な職業の人から話を聞く企画はとて面白いと思います。子ども達のちょっとした緊張感が伝わってきて、こちらも新鮮な気持ちになりました。